



OHKUBO Kazue,



TOMABECHI Mayumi



TASHIMA Chiyuki



SHINOHE Yoshika



AKIYAMA Youko



TAKASAWA Toshie

21世紀の蠅の羽音が唸る、過密都市の中の「ラーゲリ＝収容所」。人々はあまねく「ムーゼマン＝回教徒」の形姿を崩さない。そこには一切の希望は失われている。本当にそうだろうか。イメージに眩惑されることなく、イメージの底をぶち抜いて、その形姿の根源に「微光」を掘削すること。そこには生・政治学的な古層、いわば深海の発光体＝イリュミオールが、まさに「ILL＝錯誤の／病んだ」夜光虫＝イリュシオールとして到来するだろうから。



鴻英良 OTORI Hidenaga  
演劇批評家。ロシア芸術思想。2002・03・04年ハンプルク国際演劇祭ラオコオン芸術監督。著書に『二十世紀劇場』(朝日新聞社・98年)。共著に『野田秀樹 赤鬼の挑戦』(青土社・06年)。訳書に『イリヤ・カバコフ自伝』(みすず書房・07年)他。07年モレキュラー青森県美公演・沖縄県美公演トーク講師。08年ICANOF展(八戸市美)講師。



稲川方人 INAGAWA Masato  
詩人。詩集『聖一歌章』(思潮社・07年)で08年第38回高見順賞。主な詩集に『2000光年のコノテーション』(91年・現代詩花椿賞)『稲川方人全詩集 1967-2001』(思潮社・02年)他。ICANOF第1回展・第3回展で自作の上映・トーク。08年7月ICANOF展(八戸市美)では「東西論／新宿篇」と「物語的回収に抗して」をテーマに講演。



結秀実 SUGA Hidemi  
文芸批評家。近畿大学教授。著書に『「帝国」の文学』(以文社)『日本近代文学の〈誕生〉』、『「超」言葉狩り宣言』(太田出版)他多数。とりわけ『革命的な、あまりに革命的な』(作品社・03年)『1968年』(ちくま新書・06年)の著者として08年7月ICANOF「68-72\*世界革命\*展」に来八、「70年万博と岡本太郎再評価批判」をテーマに講演。



鵜飼哲 UKAI Satoshi  
フランス文学思想。一橋大学教授。著書に『「応答する力」』(青土社・03年)『主権のかなたで』(岩波書店・08年)他。訳書にジュネ『恋する虜』(人文書院・94年)デリダ『精神分析の抵抗』(青土社・07年)他。05年モレキュラー主催「ベケット東京サミット」(国際交流基金フォーラム)コロック講師。06年ICANOF展(八戸市美)で「カルトポスタルとテレパシー」を講演。



瀬尾育生 SEO Ikuo  
詩人。表象言語論。首都大学東京教授。詩集『DEEP PURPLE』(思潮社・95年)で96年第26回高見順賞。著書に『二十世紀の虫』(五柳書院・01年)『戦争詩論』(平凡社・06年)他。最新詩集『アンユナイテッド・ネイションズ』(思潮社・06年)他。今回のトーク出席は、00年モレキュラー『直下型演劇』公演以来、久々の再会となる。



豊島重之 TOSHIMA Shigeyuki  
モレキュラー演出家。ICANOFキュレーター。八戸生れ・在住。編著『68-72\*世界革命\*展』他。論稿に『写真という島々／証言という無人島』『飛び地の写真／写真の飛び島』『写真は密航する』(photographers' gallery press)他。主な舞台に06年世田谷パブリックシアター企画制作『OHIO／CATASTROPHE』、07年沖縄県立美術館開館記念『DECOY』他。

スタッフ：



宮内昌慶 高田章伍 斉藤尚子 豊島圭佑 ほか

映像：



佐藤英和

フライア：



佐々木遊

# ILLUMIOLE ILLUCIOLE

produced/performed by  
MOLECULAR THEATRE

演出・構成・美術：豊島重之



2008年11月7日（金）ソワレ開場18時半 開演18時45分  
8日（土）ソワレ開場17時半 開演17時45分  
9日（日）マチネ開場13時半 開演13時45分

TEMPORARY CONTEMPORARY

中央区月島1-14-7・旭倉庫2F 03-3533-0880

FAX 0178-45-9247 mol@r66.7-dj.com  
090-2998-0224

supported by Japan Arts Fund

アフタートーク《ハエのための演劇をめぐって》

▼7日（金）19時40分～21時10分『汚辱にまみれた生の演劇をめぐって』  
講師：絃秀実（文芸批評家）稲川方人（詩人）  
／司会：鴻英良・豊島重之

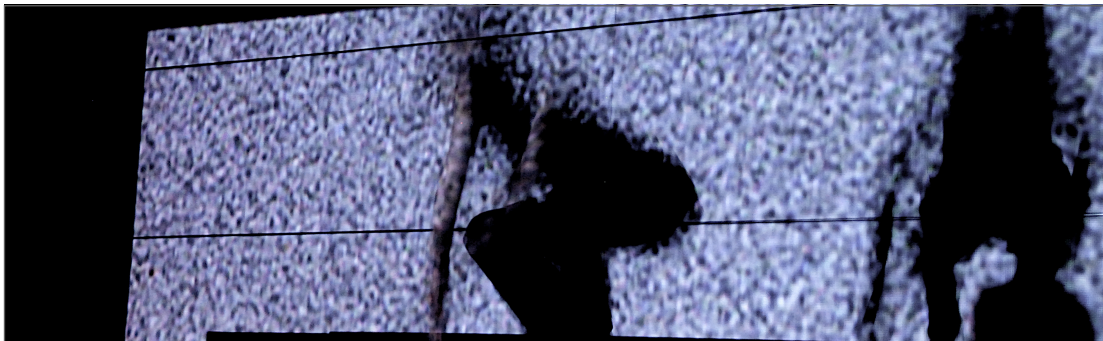
▼8日（土）18時40分～19時10分：鶴飼哲講演『歓待と不同意のキワ』  
19時15分～21時『残余の演劇と演劇の残余をめぐって』  
講師：鶴飼哲（文学思想）鴻英良（演劇批評家）  
／司会：豊島重之

▼9日（日）14時40分～16時半『ハエのための演劇をめぐって』  
講師：瀬尾育生（詩人）鴻英良（演劇批評家）  
／司会：豊島重之

text : based on several passages from Vsevolod Meyerhold & Jean Genet

フセヴォロド・メイエルホリド『メイエルホリド・ベストセレクション』  
（桑野隆・亀山郁夫・浦雅春ほか訳、作品社刊）よりの断章

ジャン・ジュネ『シャティエラの四時間／アルベルト・ジャコメッティのアトリエ』  
（鶴飼哲訳、現代企画室ほか刊）よりの断章



thanks to ICANOF, sun friend, SDP, studio hypnos, DANSE BALLET LYCEE,  
shudan TAMA., NEMOTO Shinobu, KITAJIMA Keizo and others